

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年09月17日

計画の名称	秋田市における良好な水環境ネットワークの形成(第2期)													
計画の期間	令和02年度～令和04年度(3年間)								重点配分対象の該当					
交付対象	秋田市													
計画の目標	本市における生活排水処理構想に基づき、公共下水道で整備すべき地区について早期に未普及解消に取り組む必要があることから、それぞれ適正な手法で下水道整備に着手し、快適な暮らしを実現し、良好な水環境を創造する。													
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		741	A	735	B	0	C	6	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0.8	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R3末)	最終目標値 (R4末)
1	①下水道処理人口普及率を93.9%(R2当初)から95.1%(R4末)に増加させる。 ①下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人)/総人口(人)	94%	95%	95%
2	②水洗化率を89.9%(R2当初)から91.6%(R4末)に増加させる。 ②水洗化率 水洗化済みの人口(人)/下水道を利用できる人口(人)	90%	91%	92%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	秋田市	直接	秋田市	管渠(汚水)	新設	(未普及対策)下水道管渠整備(下浜地区ほか)	約75~約250 L=4,400m	秋田市	■	■	■			585	-	
	A07-002	下水道	一般	秋田市	直接	秋田市	管渠(汚水)	新設	農集処理区流域統合(豊岩地区ほか)	接続管渠布設(農集7処理区)	秋田市	■	■	■			150	-	
												小計						735	
												合計							735

C 効果促進事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	C07-001	下水道	一般	秋田市	間接	秋田市	管渠(汚水)	新設	(未普及対策)宅内排水 設備改造費用助成金等	宅内排水設備助成金	秋田市	■	■	■			6	-	
基幹事業の下水道管渠整備等により下水道利用可能者の水洗化率を向上するため、宅内排水設備の改造費用に対し助成を行うことにより、快適な暮らしを実現し、良好な水環境を創造する。																			
											小計						6		
											合計						6		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制		事後評価の実施時期	
秋田市下水道事業担当課により、事業実施状況・指標の達成状況の確認および評価を実施		計画期間終了後(令和6年9月)	
		公表の方法	
		秋田市のホームページにて公表	

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	下水道の整備を行った結果、秋田市の下水道処理人口普及率を93.9%(R2当初)から95.1%(R4末)、水洗化率を89.9%(R2当初)から90.5%(R4末)に増加させ、市民の快適な暮らしを実現し、良好な水環境の創造に寄与することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述)	

○特記事項(今後の方針等)

事業の成果として、下水道処理人口普及率の目標値95.1%を達成し、順調に整備することができた。また、水洗化率については、想定以上に人口減少が進み目標値に達しなかったものの、引き続き、下水道の整備を行い、良好な水環境を創造し下水道処理人口普及率および水洗化率の増加を図る。

○目標値の達成状況		
番号	指標(略称)	
	目標値/実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	95%
	最終実績値	95%
整備が順調に進捗し、最終目標値95.1%を達成した。		
2	最終目標値	92%
	最終実績値	90%
想定以上の人口減少により、最終目標値91.6%に対し実績値90.5%となり1.1ポイント達成しなかった。		